

主な内容

P2 令和7年度 決算注目事業

P6 常任委員会報告

P9 市政を問う「一般質問」

P15 議会のうごき

注目事業

市の予算がきちんと執行されたか、各常任委員会で慎重に審査しました。その中で、議会が注目した目玉事業を紹介します。決算額は、令和7年度のための金額であり、全体事業費ではありません。

健康診査事業 7,961万円

がん等の早期発見・早期治療につなげるため、各種健康診査を実施しました。また、健診の結果、指導が必要な方に対して、栄養や運動等に関する正しい知識の普及を図りました。



定住促進対策事業 6,629万円

定住促進奨励補助金、若者 UI ターン家賃補助金の交付など、定住・移住促進に取り組みました。また、空き家バンクの登録促進を図るため、空き家活用支援に取り組みました。



浄化槽設置整備事業 1億1,975万円

生活雑排水による公共水域の水質汚濁を防止するため、下水道等施設の設備が予定されていない区域や接続が不可能な住宅・建物における浄化槽の設置に対して補助金を交付しました。また、設置した浄化槽の適切な維持管理を図るため、清掃と法定検査にかかる費用に対して助成を行いました。

- 浄化槽設置整備事業費補助金 70,475,000円
- 浄化槽維持管理費助成金 49,235,000円



予防接種事業 5,179万円

予防接種法に基づき、令和7年度は65歳以上の方に対し高齢者インフルエンザ予防接種、新型コロナウイルス予防接種、65歳の方に対し高齢者肺炎球菌予防接種、65、70、75、80、85、90、95、100歳以上の方に対し带状疱疹予防接種を実施しました。



イノシシ等被害防止対策事業 3,310万円

ワイヤーメッシュ柵や電気柵等の設置およびイノシシ等捕獲報奨金を支給し、広域的な防護対策を講じました。

○ハード事業

事業区分	交付額	実績
ワイヤーメッシュ柵、電気柵	14,145,804円	21,234m

○ソフト事業

事業区分	交付額	実績
捕獲報奨金	15,170,000円	イノシシ1,474頭、アナグマ87頭、アライグマ3頭、カモ202羽、カラス33羽、ヒヨドリ15羽
箱わな等購入費	657,690円	15基



地球温暖化対策事業 2,012万円

2050年の温室効果ガス排出実質ゼロに向け、市役所本庁舎への太陽光発電設備を設置するための基本設計および詳細設計を実施しました。

また、個人および事業者が自家消費型太陽光発電および家庭用蓄電池を設置する際に設置費の一部について補助を行いました。



○補助件数

事業区分	件数
個人用	20件(総発電容量 113.11kW)
事業者用	0件

令和7年度 一般会計歳出 **332億5,733万円**

物価高騰対策消費喚起事業 1億3,729万円

エネルギーおよび食料品価格等の物価高騰の影響により、厳しい生活環境にある市民の負担軽減と市内経済の活性化のため、市民1人当たり3千円分の商品券を配布しました。



農地保全事業 1億2,877万円

農道、林道およびかんがい施設等の新設、改良工事を関係者の直営で実施する場合に、資材費等に対する補助を行い、農林業の振興を図りました。

事業区分	件数
農道	66件
基盤整備地区内農道	1件
かんがい施設	2件
用排水路	31件



災害対策事務費 5,051万円

防災情報や行政情報を迅速かつ的確に市民に伝達するため、防災行政無線の保守・修繕等の他、災害発生時に備え、避難所運営のための物品、備品等の整備を図りました。また、地域防災強化を図るため、自主防災組織機能強化補助金を交付し、自治会の自主防災組織結成促進や自主防災活動の推進を図りました。



基盤整備推進特別対策事業 9,668万円

県営農地整備事業において、基盤整備事業を推進するために、土地改良区が単独事業として行う農地畦畔(けいはん)の石積工事のうち、道路および水路に面した箇所に使用する石材の購入および運搬に要する補助を行い、受益者負担の軽減を図りました。



岡南部地区

土地改良区名	面積	補助金額
宮田土地改良区(国見町)	742m ²	228,000円
桃山土地改良区(吾妻町、愛野町、千々石町)	13,515m ²	61,039,000円
守山土地改良区(吾妻町)	1,758m ²	6,624,000円
岡南部土地改良区(南串山町)	4,363m ²	28,793,000円

学校給食事務費 2億1,978万円

学校給食センターの運営(調理・配送・洗浄等)を委託し、小・中学校の児童生徒に学校給食を提供しました。

- 雲仙市国見学校給食センター配食数
1日 約1,700食
- 雲仙市南部学校給食センター配食数
1日 約1,650食



養殖魚赤潮被害緊急対策事業 (令和6年 繰越事業分) 2億9,398万円

橘湾で発生した赤潮による被害に対し、養殖業者が導入する代替魚購入および被害軽減対策にかかる経費について支援を行い、事業継続および早期の事業回復を図りました。



事業内容	補助金額
代替魚導入(205,396尾)	269,276,000円
被害軽減対策(足し網等49基)	24,701,000円

県営港湾施設整備事業負担金【新規】

4,513万円

【事業目的】

市の主要施策である港湾および海岸の整備を推進するため、県が事業主体となって実施する港湾施設整備事業について、その事業費の一部を負担し、自然災害による被害の防止・減災や港湾施設の機能強化を図る。

【事業内容】

○事業主体 長崎県

○事業内容

- ①多比良港
 - 岸壁整備：本体工（B） 67m 測量設計費 一式
 - 道路新設：測量設計費 一式 用地補償費 一式
 - 第2可動橋改良 一式 測量設計費 一式
 - 安全灯設置 1基
- ②多比良港海岸
 - 護岸整備：波返工 31.9m 表法覆工 22.4m
 - 護岸改良：測量設計費 一式
- ③西郷海岸
 - 排水工改良 一式



産業建設常任委員会 現地視察（多比良港）



多比良港

小中学生スポーツ文化活動支援事業【新規】 642万円

【事業目的】

スポーツや文化・芸術活動に頑張る子どもたちを応援するため、保護者が負担する会費や部費などの一部補助を行い、物価高騰の影響を強く受ける子育て世帯の負担軽減を図る。

【事業内容】

- ①事業内容 児童生徒の保護者が日常的に負担する文化・スポーツ活動に要する経費の一部補助
- ②補助金名 小中学生スポーツ文化活動支援事業補助金
- ③対象 スポーツや文化・芸術活動をしている児童生徒の保護者
- ④補助額 1人当たり 2,000円（上限）

令和8年第3回雲仙市議会定例会 議決結果

議案番号	件 名	議決結果
議案 第 54 号	雲仙市税条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案 第 55 号	雲仙市景観条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案 第 56 号	雲仙市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案 第 57 号	令和 8 年度雲仙市一般会計補正予算（第 6 号）案について	原案可決
議案 第 58 号	工事請負契約の締結について	原案可決
議案 第 59 号	動産の買入れについて	原案可決
議案 第 60 号	雲仙市認可地縁団体印鑑条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案 第 61 号	令和 8 年度雲仙市一般会計補正予算（第 7 号）案について	原案可決
認定 第 1 号	令和 7 年度雲仙市一般会計歳入歳出決算認定について	認 定
認定 第 2 号	令和 7 年度雲仙市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
認定 第 3 号	令和 7 年度雲仙市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
認定 第 4 号	令和 7 年度雲仙市国民宿舎事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
認定 第 5 号	令和 7 年度雲仙市温泉浴場事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
認定 第 6 号	令和 7 年度雲仙市企業誘致用地整備事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
認定 第 7 号	令和 7 年度雲仙市水道事業会計決算認定について	認 定
認定 第 8 号	令和 7 年度雲仙市下水道事業会計決算認定について	認 定
諮問 第 3 号	人権擁護委員候補者の推薦について	同 意
諮問 第 4 号	人権擁護委員候補者の推薦について	同 意
諮問 第 5 号	人権擁護委員候補者の推薦について	同 意
報告 第 6 号	令和 7 年度雲仙市決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	—
報告 第 7 号	専決処分した事件の報告について（損害賠償の額の決定及び和解）	—
報告 第 8 号	放棄した債権の報告について	—

※ 9月7日、議案 第57号、議案 第61号、認定 第1号に対する議案質疑が行われました。

賛 否 表

※本会議において否決および賛否が 分かれた議案について掲載してい ます。	議席番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
	結 果	表 決 数	林 田 武 志	町 田 康 輔	柿 田 耕 平	下 楠 園 康 司	廣 瀬 猛 男	上 田 美 代 子	山 本 松 一	大 山 真 一	矢 崎 勝 己	渡 辺 勝 美	林 田 哲 幸	平 野 利 和	深 堀 善 彰	松 尾 文 昭	小 畑 吉 時	坂 本 弘 樹
			○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
令和 7 年度雲仙市国民健康保険特別会計 歳入歳出決算認定	可決	14:2	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
令和 7 年度雲仙市後期高齢者医療特別会計 歳入歳出決算認定	可決	14:2	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○

○賛成 ●反対 ▲欠席 ※議長（大久保正美）は、採決に加わらない。



はやし ひろふみ
林 洋文氏(再任)



み うら やすし
三浦 靖氏(再任)



まち だ としふみ
町田 敏文氏(再任)

任期 令和 9 年 1 月 1 日
令和 11 年 12 月 31 日

人権擁護委員

人事案件

総務

委員会

委員長 大山 真一
副委員長 矢崎 勝己
大久保正美
平野 利和
渡辺 勝美

決算 行政デジタル化 推進事業

問 職員の業務をデジタル化したことによる効果は。

答 令和7年と令和8年のそれぞれ4月から8月までの5カ月間を比較したところ、時間外勤務が4.9%削減され、額にして22万1745円の削減が図られた。

問 職員数の削減にもつながるのではないか。

答 次期行政改革大綱の策定に向けて職員数の在り方について整理していきたい。

行革推進課・人事課

決算 結婚応援事業

問 結婚応援事業の内容と成果は。

答 ①県が運営する「お見合いシステム」の登録料を上限1万円で全額補助する「お見合いシステム登録促進補助金」、②婚姻した夫婦に40万円を2年間で分割して支援する「結婚支援金」、③出生した子ども1人当たり20万円を支援する「赤ちゃん支援金」などである。成果は平成26年度以降に184組のカップルが成立し、そのうち30組が成婚に至っている。

地域づくり推進課



現地視察（古湯自治会集会所）

総合窓口課

決算 マイナンバーカード の出張申請

問 マイナンバーカードの出張申請の対象となる基準は何か。

答 病気や介護などで市役所に来庁できない方のもとへ出向き、申請手続きを行っている。

問 更新対象者にはどのように通知しているのか。

答 国の機関である地方公共団体情報システム機構から対象者の自宅へ有効期限の3カ月前に更新通知を送付している。

決算 広報紙発行事業

問 年間の発行回数および1回当たりの発行費用は。

答 年間12回、毎月28ページを基本とし、1回当たりの発行費用は28ページで96万960円である。

問 入札参加業者は何社か。

答 市内業者2社、市外業者3社である。

未来創生課

雲仙市税条例の一部を 改正する条例

問 特定暗号資産は、どのような場合に課税され、課税方式はどう変わるのか。

答 資産のやり取りによって利益が発生した場合に課税される。これまで給与などの所得と合わせて税額計算の対象だったが、今回の改正で株式などと同様の取り扱いとなり、個別に税額計算される。

税務課

文教厚生

委員会

委員長	林田 哲幸	深堀 善彰
副委員長	山本 松一	上田美代子
		廣瀬 猛男
		下楠園康司

雲仙市環境センターの 工事請負契約の締結

問 見積もり徴取は何社に行
ったのか。

答 市の入札参加資格を有す
る4社に見積もり依頼を
行ったが、他社は辞退さ
れ、見積書の提出があつ
たのは、現在、仮契約の
相手方1社のみである。

問 雲仙市環境センターを稼
働させながら更新する工
事であるが、メリットは。

答 新しく建て直す場合、試
算では約56〜57億円か
かると見込まれるが、今回
の基幹的設備改良であれ
ば約3割のコストを抑え
ることが可能である。

環境政策課

地域介護福祉空間整備事業

問 グループホームの非常用
自家発電設備の整備を視
察した。市内にあるグルー
プホームの整備状況は。

答 市内に18カ所あるが、全
施設の設置には至ってい
ない。希望があつた施設
に対し整備を進めている。



現地視察（グループホームみずほ野）

福祉支援課

【決算】 全国学力調査

問 「全国学力調査との比較
（小・中）」について、効
果検証で令和7年度の判
定がD判定（達成率50％
未満）であるが、市の取
り組みはどうなっている
のか。

答 各校での分析を行ってい
る。教育委員会としては、
市全体の傾向を分析し、
校長研修会等において指
導を行い、各校での取り
組みを推進している。

問 授業改善の手法は。

答 3つの学力調査データを
分析し、強みと弱みを把
握しながら授業の中で取
り入れている。

学校教育課

【議案外】 土黒小学校での火災

問 出火原因は。

答 現時点では不明である。

問 今後の対応は。

答 市としては、今後スワー
ルカウンセラーによる児
童の心のケアおよび防犯
カメラの増設を検討して
いる。

問 身体検査はどこが主体で
行ったのか。

答 警察が主体となって実施
した。

問 身体検査を中断したのは
何か証拠が発見されたか
らなのか。

答 そういうことではない。
何か証拠が出たから中断
したのだと児童が誤解し
ないよう説明を行っている。

総務課・学校教育課

産業建設

委員会

委員長	小畑 吉時	坂本 弘樹
副委員長	松尾 文昭	町田 耕平
	林田 武志	町田 康輔

養殖魚赤潮被害緊急対策事業

問

補助率の算出基準はどうなっているのか。また、赤潮が毎年発生する可能性がある中で、今後の対策はどのように考えているのか。

答

被害額を基に生産原価を差し引いた額の3分の2を県と市で補助する。対策については、足し網や防除剤の散布を行ってきたが、今回は深浅に関係なく有害プランクトンの数値が高かったため被害が発生した。今後は県の水産業普及指導センターや漁業者と協議し、有効な対策を検討していく。

農漁村整備課

光り輝く雲仙力アップ事業

決算

問

効果検証結果において、年間耕作放棄地解消面積がD判定（達成率50%未満）になっている理由と今後の対応は。

答

目標解消面積10haに対し、実績が46haであったためD判定となったが、本市独自の事業として農業産出額県内1位に寄与しており、生産者からの要望も多いため、事業内容を精査した上で来年度予算にも計上したい。

農林課

決算

水道事業会計

問

一般会計からの繰り出し金（他会計補助金）がないと収支がプラスにならないのか。

答

会計上はプラスだが、一般会計の繰り出し金がないと現状の水道事業の運営は成り立たない状況である。

問

有収率が68・42%となっているが、残りの約31%の主な内容は何か。また、今後の資材高騰を踏まえて水道料金の改定を予定しているのか。

答

主な内容は漏水である。漏水箇所が多い地域を重点的に工事しているが、追い付いていない状況である。水道料金は料金審議会を通じて今後の料金体系の見直しが必要と考えている。

水道課

小浜港改修事業

問

今回計上された港湾整備事業分と今後の埋立整備事業分は一体的に進められるのか。

答

港湾整備事業と埋立整備事業の2つの事業に分けられている。港湾整備事業の一部（4500万円）は国の採択を受け、県議会でも予算が可決している。埋立整備事業はまだ国の採択を受けていないため、県も採択に向けて進めている。市も本年7月に早期事業化に向けての要望書を県へ提出した。



現地視察（小浜港改修事業）

監理課

市政を問う 10人の議員が一般質問



やまもと まついち
山本 松一…… P 9
うえだ みよこ
上田美代子…… P 11
やざき かつみ
矢崎 勝己…… P 13

まちだ こうすけ
町田 康輔…… P 10
まつお ふみあき
松尾 文昭…… P 12
おおやま しんいち
大山 真一…… P 14

かきた こうへい
柿田 耕平…… P 10
はやしだ たけし
林田 武志…… P 12

しもくすぞのこうじ
下楠園康司…… P 11
ひらの としかず
平野 利和…… P 13

掲載内容は、質問者自身が会議録をもとに原稿を作成しています。
二次元コードを読み込んでいただくと、一般質問の全体をご覧いただけます。



一般質問動画

児童生徒のSNS規制は



やまもと まついち
山本 松一 議員

議員 自分で考えることなくAの答えだけを求める状態が日常化し、思考力の衰退につながる恐れがあるとして、海外では年齢によるSNSの利用制限が導入・検討されているが、教育委員会の考えは。

教育次長 生成AIの回答を無批判に受け入れるのではなく、真意や妥当性を見極める批判的思考力を養うことは、子どもたちにとって、重要な資質、能力だと考えている。

職員の中途退職

議員 直近10年間で入庁して3年以内の退職者はどれくらいか。職員は足りているか。
総務部長 退職者は13人、正規の職員は不足しているが会計年度任用職員を配置している。

議員 今回の会計年度任用職員の生活に大きな影響を与える勤務体制変更については、丁寧な説明が必要ではなかったのか。

部長 今後は、丁寧で分かりやすい説明に努める。

高齢者等の熱中症対策

議員 独居老人の世帯数と、熱中症対策は。

健康福祉部長 3894世帯で、広報紙や戸別受信機、ホームページで予防の普及啓発や出前講座で応急措置等の周知をしている。

議員 長与町では、物価高騰を受ける生活保護世帯や生活困窮と認める世帯を対象にエアコンの支給をしているが、市でもスポットクーラー等の補助は考えられないのか。
部長 生活困窮世帯には補助はない。

その他の質問

- ・ AEDのバッテリーや電極パットの2分の1補助は。
- ・ チョイソコうんげんの南串山・愛野間の通院に必要な朝・昼・夕方3便の一部定期便化は。



一般質問動画

空き家対策と利活用



まち だ こうすけ
町田 康輔 議員

議員 空き家対策は、観光・防災・景観・文化・暮らしを守る地域づくりである。本市の空き家バンク登録数は。

地域振興部長 令和7年度は土地3件、建物30件である。

議員 本市には2500戸ほど空き家がある。手厚い補助制度があるにもかかわらず登録数が伸び悩んでいる。どのように伸ばす予定なのか。

部長 固定資産税納税通知書への案内チラシ同封や自治会長協力の下、現地確認等の空き家調査を実施している。

議員 移住者向け補助制度利用後の空き家が移住者にしか貸すことができない運用を、市内の子育て世帯へ貸すなど改善すべきでは。

議員 移住者向け補助制度利用後の空き家が移住者にしか貸すことができない運用を、市内の子育て世帯へ貸すなど改善すべきでは。

部長 他の補助制度との整合性や公平性の確保のため、慎重に対応する。

議員 大阪府寝屋川市では、空き家の流通を促す空き家税を導入する。「目的は税収の確保ではなく、空き家の所有者の行動変容のため」とのことである。本市の見解は。

建築課長 空き家バンクを活用したマッチングや除却補助制度の周知・活用などの施策を着実に進めていく。

小浜港の埋め立て

議員 市民からの声で、小浜港の埋め立てと支所・夕日の広場・バスターミナルの新設については、別々に考えるべきという意見がある。埋め立てを待てば、まちづくりや拠点整備が滞り、観光地として機会損失を招く。市の考えは。

財務部長 支所の建て替えを埋め立て地に決定はしていない。総合的に勘案し決定したい。

財務部長 支所の建て替えを埋め立て地に決定はしていない。総合的に勘案し決定したい。



一般質問動画

インフラの老朽化



かき た こうへい
柿田 耕平 議員

水源開発工事

議員 吾妻町守山浄水場の水源開発工事が行われた経緯は。

市長 吾妻町町下地区埋め立て地の企業誘致に際し必要不可欠なインフラとして、令和元年6月から水源開発を開始した。

議員 事業費の総額はいくらか。

環境水道部長 事業費総額は約2800万円である。

議員 なぜこの事業が進んでいないのか。

部長 計画水量を必要とされない企業が決定したため、現在は休止している。

議員 多額の税金が投入され、

れているが、今後の計画は。

部長 既存水源の老朽化を見据え、代替水源として有効に活用していく。

道路陥没の状況

議員 過去3年の市道陥没の発件数は何件なのか。

建設部理事 令和5年度13件、令和6年度16件、令和7年度27件である。

議員 発件数が増加傾向にあるが、インフラの老朽化が関係しているのではないか。

理事 インフラの老朽化や異常気象が複合的に作用しており、道路陥没は増加傾向にあると認識している。

議員 道路陥没を未然に防ぐ事は、市民の命を守る事と同義と考える。市道に合う小型の空洞調査機を取り入れた事前調査を検討してはどうか。

市長 機器を保有して運用するのは慎重にならざるを得ない。空洞調査機も含め先進事例や技術動向等、引き続き調査研究を重ねていく。

市長 機器を保有して運用するのは慎重にならざるを得ない。空洞調査機も含め先進事例や技術動向等、引き続き調査研究を重ねていく。



一般質問動画

税金の使い道は説明を！



しもくすぞの こうじ 下楠 蘭 康司 議員

指定管理制度の問題

議員 指定管理料の運用は適切になされているのか。

教育次長 費用負担の協議の議事録を作成、保管していません。

市長 行政手続きの透明性の観点で大変不適切であった。

富津防災のトンネル

議員 富津防災のトンネルは、震度7に対応した構造になる予定なのか。

建設部理事 最新の技術基準等に基づいて今後の詳細設計で検討する報告を受けている。

小浜港埋め立て事業

議員 小浜港の水産業は、どのくらいの経済効果を想定

しているのか。

建設部理事 整備後は水揚げが小浜港へ集約されていくものと考えている。

議員 埋め立て事業の住民説明会は37名の参加。市は問題ないという認識なのか。

理事 参加人数は少なかつたが、今から取り組むお知らせは完了したと考えている。

議員 市の負担は18億円程度。税金が使われる事業の住民説明会が37名は少ないという印象がある。

学校の統廃合

議員 計画的・積極的に統廃合の議論を進め、市民に理解いただく必要がある。現状、教育格差が生じているかどうかについての認識は。

教育次長 生徒数によって教育環境に差異が生じる教育機会の不公平性は課題である。

議員 公教育がどうあるべきか。どのような形で雲仙市の子どもたちに届けていくかを議論いただきたい。



一般質問動画

体育館にエアコンを



うえだ みよこ 上田 美代子 議員

議員 中小学校の体育館へのエアコン設置の予定は。

教育長 他の事業と調整を図りながら取り組みを進めた。

議員 子どもたちと市民の命を守るため早急な取り組みを。小中学校のエアコンの運用について、電気代を心配して使用控えなどはないのか。

教育次長 使用控えすることなく健康第一の運用を行うよう校長会を通じて指導する。予算がオーバーした場合も教育委員会に相談するよう校長会を通じて対応する。

安心して出産できる環境

議員 市内にお産ができる施設がなく、近隣でも少ない現状をどう考えているのか。

市長 環境を整えることは重要な課題。誘致は難しい。

国や県に財政支援や医師等の確保に向けた要望活動を市長会等を通じて行っていく。

みずほすこやかランドの松枯れ

議員 松林が毎年枯れているが枯れた理由は。

教育次長 松くい虫の被害である。

議員 他所のように樹幹注入していないのか。今後の対策は。

次長 今年度松枯れ防止樹幹注入を予定している。継続的・計画的に進めていく。

小浜港の埋め立て

議員 小浜港の埋め立ては、住民の要望ではなく、トンネルの土の捨て場に国からも要請があり、都合がいいから計画したということか。

建設部理事 そのとおりである。

議員 住民の理解、同意は得られているのか。

理事 同意は得ているものと考えている。

議員 決定前に十分な説明を。



一般質問動画

農業振興と食育推進



まつ お ふみ あき
松尾 文昭 議員

農業振興

議員

圃場整備は進んではいるが、未整備地区が40%余りあり、後継者も少なく借り手もない。将来的には耕作放棄地となる。整備の考えは。 **市長** 関係農家との協議を重ね、国や県の補助制度を活用し、地域の合意形成を図りながら整備推進に取り組む。

食育推進

議員

地元の農水産物や加工品の利用実態はどのようになっているのか。

観光商工部長

令和5年度に雲仙地域の宿泊施設を対象に実施したアンケートによると、多くの施設で地産地消に対する意識が高く、積極的に

地元食材を取り入れている。

議員

農産物直売所は地元の生産物販売が本来の姿である。出品状況と売り上げの実績は。

部長

令和7年度における登録出荷者数と売上額は、吾妻ふるさとふれあい館が139名、約3269万円、ちぢわ農産物直売所が107名、約5587万円である。

議員

食生活改善の推進は医療費の抑制につながる。食生活改善推進委員の具体的な活動内容は。

健康福祉部長

生活習慣病予防のための減塩や野菜摂取を目的としたレシピの考案など、健康づくりと食育の推進にご尽力いただいている。

議員

学校給食での地場産物の活用は食材全体の何割か。

教育長

令和7年度の本市産の米、生肉、生果等の原材料使用実績は15・25%である。 **健康福祉部長** 運営についても地場産品の納入拡大に努める。



一般質問動画

市政への期待を問う



はやし たけ し
林田 武志 議員

南串山椎木川線改良

議員

南串山椎木川線の緊急的局部改良を実施できないか。

市長

市道改良事業の実施時期は、継続事業の進捗状況を見ながら判断している。

公共土木事業補助金

議員

令和7年度に上限200万円で受け付けた補助金申請額を市が勝手に250万円に増額認定することは、補助金交付要綱の規定を無視して不適切ではないか。

道路河川課長

4月1日改正施行の要綱に基づき認定を行ったものであり、手続きも

適切と考えている。

市ホームページ誤表示

議員

市ホームページの第2次総合計画後期基本計画で、農地の年間耕作放棄地面積の成果指標達成状況を達成できていないのに、目標達成と誤った表示を行った原因は。

総務部長

一部の表記に誤りがあったことをお詫びする。認識が不十分でチェック機能が働いていなかったことが原因である。

ふるさと納税の再指定

議員

来年10月のふるさと納税再指定まで残り1年となった現在の取り組み状況は。

観光商工部長

再指定の申請受け付けが行われる令和9年9月に向けて準備を進めている。

市長

総務省自治税務局長に面会して取り組み状況の説明を行うなど、来年の再指定に向けて全力を尽くしていく。



一般質問動画

障がい者の避難所運営



ひらの としかず
平野 利和 議員

議員

熊本県の避難所を見てきた。子どもたちや様々な障がいを持つておられる方は、周りの避難者に迷惑をかけるのか、避難を迷われている状況がある。避難所運営はどのようなになっているのか。

健康福祉部長

一般避難所での滞在が困難な方は、介護者同伴となるが、配慮が必要な方のための福祉避難所として3カ所設置している。

議員

市内の福祉施設の専門スタッフが障がい者施設にショートステイでの避難をすることができないか。

部長

環境変化による負担を和らげるため平常時からショートステイなど体験利用を重ね、本人が施設やスタッフ

フに慣れておくことで台風や大雨など事前予測できる災害

においては、ショートステイ等の利用が有効である。日常的に利用している事業所や担当の相談支援専門員に具体的に相談し、個別の計画に反映させておくことを関係事業所に提案したい。

議員

ペットを飼っている家庭が多くあると考える。ペット避難所の対応はどのようなになっているのか。

総務部長

ペットと同行避難となり、ケージ等に入れ、指定避難所（瑞穂町と千々石町）で飼育するなど、避難所でのルールや留意事項があり、飼い主の責任で対応してもらう。



一般質問動画

防災対策

被災者再建支援制度

議員

経済的負担も大きい被災時の対応は、自助努力で行うには限界がある。災害に強いまちづくりには、公助の役割が大変重要と考えるが、県・市町被災者再建支援制度の拡充に向けた、本市の取り組みはどのようなになっているのか。

市長

自然災害により住宅が全壊するなど、生活基盤に著しい被害を受けた世帯に対し、国は制度に基づき支援金を給付するが、災害支援法の適用基準や住宅全壊被害が10世帯以上発生した災害など一定の要件が必要である。同一の自然災害でありながら、居



やぎき かつみ
矢崎 勝己 議員

住する地域によって支援の対象にならない場合がある。県と県内市町が協力、連携し、

国の制度を補完する形で創設されたのが、長崎県・市町被災者生活再建支援制度である。

物価高騰の中、自立した住宅再建を果たすことは非常に困難な状況であり、支給上限額の増額や中規模半壊未満の被災世帯への対象拡大などの制度拡充については、全国共通の課題であると認識している。国における法改正の具体的な議論の推移および他自治体における共同要望の動向を注視していく。

議員

アルファ化米の活用と避難所の調理室を利用した食事の提供はできないのか。

総務部長

避難生活が長期化した場合、温かい食事が必要になるため、施設管理者と調整し、調理室の有効活用を図っていく。災害救助法の適用になれば、食料、食事は県からの現物支給になるので、県と調整していく。



一般質問動画

災害発生時の対応は



おおやま しんいち
大山 真一 議員

地震発生時の対応策

議員 地震発生時における対応策の周知方法はどのようなものか。

市長 地震や大雨など災害発生の際には速やかに警戒本部を立ち上げ情報を迅速に収集し早急に周知するよう努めている。

情報発信の手段はエリアメール・緊急速報メール・ホームページなどの情報発信や、インターネット環境がない方々や通信網が寸断されている状況でも、防災無線や戸別受信機による情報発信を行っている。

議員 地震等災害発生時の避難所開設の基準はどのようなものか。

総務部長 地震観測震度3

では警戒体制、震度4で災害警戒本部を設置し必要に応じて開設。震度5弱以上や津波警報時は即時に対策本部を設置し避難所を開設し、避難を呼びかける。

顕彰彫像の管理

議員 南串山総合支所敷地に元建設大臣の馬場元治氏の銅像が建っているが、市有財産施設内の顕彰碑や彫像の現状はどうなっているのか。

財務部長 雲仙市にゆかりのある偉人の功績をたたえるものとして市内に6体の彫像があるが、現状はすべて屋外設置のため、相応の経年劣化が見られる状況である。

議員 これらの彫像の管理は雲仙市に帰属するものだと思うが、管理者としての基本方針はどう考えるのか。

部長 これまでは維持管理等の基準がなく管理が行き届いてなかったため、今後年1回以上は目視による定期点検を実施し、専門業者によるメンテナンスを含め、適切な維持管理に努めていきたい。



長崎県への施策に関する要望・提案書の提出

令和8年度長崎県への施策に関する要望・提案を市議会、市長部局との合同で平田県知事および長崎県議会議長に行い、市議会からは副議長および各常任委員会委員が出席しました。

振興、地域活性化のための廃棄物埋立護岸の整備による用地造成の早期事業化の3項目について強く要望しました。

今回は本市の「重要施策12項目」を要望し、そのうち、地域の喫緊の課題である「愛野く小浜間の幹線道路整備について」は、一般国道57号の機能強化等の国への強い働きかけを、「一般国道251号の整備促進について」は、道路災害防除事業の促進、交通安全施設整備事業の早期完成を、「小浜港の整備について」は、水産業の





令和8年8月2日(日) 長崎県消防ポンプ操法大会 出場選手団の激励および慰労会

第39回長崎県消防ポンプ操法大会が大村市の長崎県消防学校で開催され、多くの議員が激励しました。

雲仙市代表として、国見支団が小型ポンプの部に出場され、準優勝という素晴らしい成績を収めました。

これもひとえに、国見支団の皆さんが一丸となって、強い精神と責任感を持って訓練に励まれた賜物であります。

雲仙市消防団ならびに国見支団の今後ますますのご活躍を祈念します。



令和8年10月4日(日) 国道57号富津防災建設促進大会

10月4日、吾妻町ふるさと会館において、今年で5回目となる促進大会が開催され、本市と諫早市、島原市、南島原市の関係者約420人が参加しました。

国道57号富津防災の整備促進と愛野・小浜バイパスの整備実現などに取り組むことを決議し、地域の実情を強くアピールしました。



令和8年8月5日(月)・6日(火) 島原半島3道路期成会合同要望会

島原半島3市の市長・議長らで構成された愛野・小浜バイパス建設促進期成会ほか2期成会の合同要望に大久保議長が参加しました。

【要望箇所】

- 5日・長崎県島原振興局
- 6日・長崎河川国道事務所
- ・長崎県
- ・長崎県議会
- ・自由民主党長崎県支部連合会

研修 雲仙市議会議員研修会

令和8年7月31日、雲仙市議会議員研修会を雲仙市役所で開催しました。

研修会では「二代表制における『議員』の職責と情報倫理～これからの地方議員に必要なこと～」と題し、日本公共経営研究所代表の宮本正一氏による講義をいただきました。

少子高齢化、AI時代に議員としてどのように対応していくのか、AIに頼り過ぎず現場に行く大切さなどを認識し、有意義な研修となりました。



研修 長崎県市議会議長会研修会

令和8年8月21日、長崎県市議会議長会議員研修会が出島メッセ長崎で開催され、長崎県下の市議会議員の多くが出席しました。

研修会では「地方議員のための安全なSNS発信と生成AI活用」と題し、議会事務局実務研究会の北村純一氏による講義をいただきました。

議員のSNSトラブルの実態と対策、議会や議員における生成AIの注意点と活用方法について具体例を基に学びました。

講義は今の時代に沿ったタイムリーな内容であり、有意義な研修となりました。



編集後記

朝夕の冷え込みに、秋の深まりを感じる季節となりました。実りの秋を迎え、市内各地では様々な行事が開催され、活気に満ちた地域の良さに触れる機会も増えてきました。

「議会だより」は、議会でのどのようなことが協議され、市政にどう反映されているのかを市民の皆さまに分かりやすくお伝えする大切な役割を担っています。これからも議会に関心を持っていただけるような紙面作りに努めてまいります。

季節の変わり目です。健康には十分にご留意されて健やかに過ごしてください。

(柿田 耕平)

議会広報編集特別委員会

委員長 矢崎 勝己
副委員長 平野 利和
委員 上田 美代子、下楠園 康司
柿田 耕平、町田 康輔

議会を傍聴してみませんか？

令和8年第4回雲仙市議会定例会の
会期日程(案)は

11月25日(水)～12月18日(金)です

- 一般質問 11月30日(月)～12月3日(木)
- 議案質疑 12月7日(月)
- 委員会
 - 文教厚生常任委員会 12月8日(火)
 - 産業建設常任委員会 12月8日(火)・9日(水)
 - 総務常任委員会 12月9日(水)

※一般質問の日程は、質問者数などにより変わることもあります。
※簡単な手続きで傍聴できますので、議場へ足をお運びください。

会議中継



お知らせ

「議会だより」へのご意見ご感想がありましたら、議会広報編集特別委員会(議会事務局)までお寄せください。